

開講学科	建築学科	実務家科目				前橋工科大学 シラバス			
		—							
科目名	バウビオロギーⅡ	標準対象年次	選択/必修		科目コード				
		2年次	選択		14106101/14103501				
担当教員	石川 恒夫	単位数	学期	曜日		時限			
		2単位	前期	月曜日		5時限			
授業の教育目的・目標	<p>目的：住宅を計画、設計する上で、居住者の健康や、環境への配慮の重要性を理解する。</p> <p>目標：建物に使用される設備について、健康と環境の面からの理解を深める。</p> <p>材料の組み合わせからなる構造体及び工法について、健康と環境の面からの理解を深める。</p> <p>外部環境、及び住まいの集合する地域について、健康と環境の面からの理解を深める。</p>								
学科の学修・教育目標との関係	建築に関わる生活の豊かさ、人間の健康、地域社会、環境について考えた空間を創造することができる。								
キーワード	健康な住まい・「巢」づくり・第三の皮膜・ライフサイクル・都市景観・エコジードルンク								
授業の概要	バウビオロギーⅡでは、建材のもつ固有性の認識を踏まえて、住まいの構造体がいかに構築されるか、工法を含めつつ事例を踏まえて論述する。さらに、ビオトープや外部空間のあり方から、地域や街並みのコミュニティの健全な育成にまで視野を広げ、最も身近な自然保護の対象としての居住環境の大切さを理解する。なぜ住まいは病むのか、どうすれば再生できるのか、総合的な見地から考える機会を設ける。								
授業の計画	<p>第1回：バウビオロギーⅠの振り返り+試験返却 サルートゲネーゼについて</p> <p>第2回：居住心理学(バウビオロギー通信講座17巻より)</p> <p>第3回：エコ・マテリアル1 その由来と分類</p> <p>第4回：エコ・マテリアル2 ライフサイクル的視点</p> <p>第5回：エコ・マテリアル3 合成素材の種類と問題</p> <p>第6回：建築工法</p> <p>第7回：木造と伝統構法</p> <p>第8回：木造(ビデオ) (小テストあり)</p> <p>第9回：省エネとバウビオロギー ZEHとは</p> <p>第10回：フックライから学ぶこと バウビオロギーと都市景観</p> <p>第11回：「巢」づくりから「街」づくりへ</p> <p>第12回：課外授業1 下仁田(小井土製材所見学と群馬の木と山を知る)+高崎八幡幼稚園見学</p> <p>第13回：空間+フォルム+プロポーション</p> <p>第14回：エコビレッジとコウハウジングの可能性</p> <p>第15回：まとめ</p>								
受講条件・関連科目	受講条件:バウビオロギーⅠを受講すること。								
授業方法	資料を配布するとともに、実物の構造模型を示し理解の助けとする。またパワーポイント、ビデオなどを用いて講述する。								
テキスト・参考書	参考書：アントン・シュナイダー+石川恒夫『バウビオロギーという思想』(建築資料研究社 2003) 日本で実践するバウビオロギー 学芸出版社 2006								
成績評価	<p>・期末試験(60%) ・レポート( )・その他( ) ( %)</p> <p>・小テスト(40%)</p>								
履修上の注意	日頃から、新聞などをとおして、環境問題、建築と健康の問題に意識的になること								